

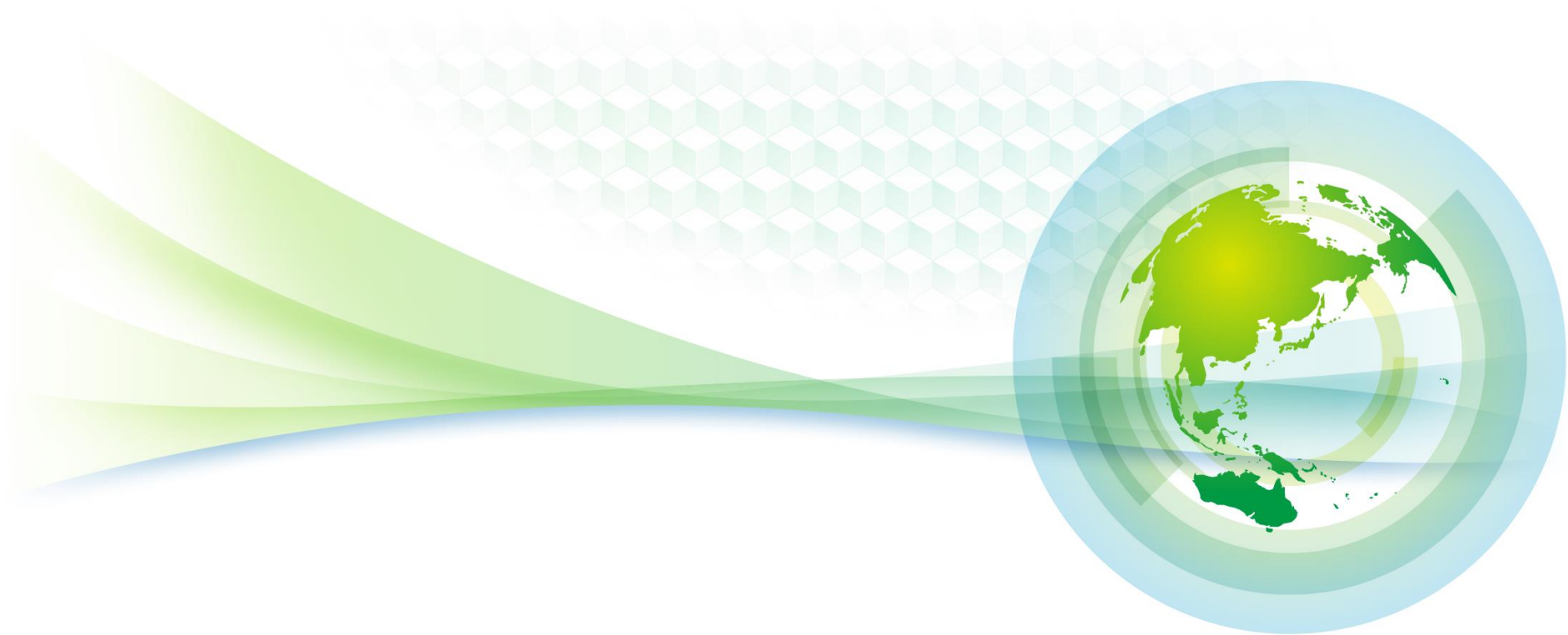


# 2017年3月期決算説明会

2017年5月25日



- I .会社概要**
- II .2017年3月期決算の概要**
- III .2018年3月期業績予想**



# I. 会社概要

# プロフィール



(2017年3月31日現在)

商号	日本カーバイド工業株式会社 (NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO.,INC.)
本社	東京都港区港南2丁目16番2号
設立	1935年10月
資本金	70億3405万5242円
発行済株式数	81,940,298株
連結従業員数	3,390名
事業内容	素材・材料メーカー

# 沿革



- 「カーバイド」を原料としたアセチレン誘導工業のパイオニアとして創業、2015年に創立80周年を迎えた
- 化学工業の発展とともに事業再構築。コア技術である樹脂重合技術、フィルム・シート技術、焼成技術を軸に化成品、機能樹脂、フィルム、反射シート、電子部材事業を展開

	事業展開	拠点展開	その他
創業～1930年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1935年にカーバイド製造を業とする日本カーバイド工業を設立</li> <li>■ 国産肥料㈱を合併、魚津工場操業開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本店を富山県に設置</li> </ul>	
1940年代～1960年代 自社技術の深化・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 三和化学工業㈱設立(現㈱三和ケミカル)、「化学・医薬品製品」製造販売を開始</li> <li>■ 「メラミン樹脂製品」の製造・販売開始</li> <li>■ 「機能樹脂(粘接着剤)」の製造・販売開始</li> <li>■ ビニフレーム工業㈱設立、「建材関連」事業を開始</li> <li>■ 「包装材料」の製造・販売開始</li> <li>■ ダイヤモンドエンジニアリング㈱設立、「エンジニアリング」事業に参入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本店を東京丸の内に移転(現本店は港区港南2-16-2)</li> <li>■ 大阪駐在(現大阪支店)を設置</li> <li>■ 早月工場建設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京証券取引所に上場</li> <li>■ 大阪証券取引所に上場</li> </ul>
1970年代～1990年代 新規事業・海外展開の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「マーキングフィルム」の製造・販売開始</li> <li>■ ㈱北陸セラミックに資本参加、「電子材料(セラミック基板)」事業に進出</li> <li>■ タイにTHAI DECAL CO.,LTD設立、「ステッカー(デカル)」事業を開始</li> <li>■ タイにELECTRO-CERAMICS設立、「セラミック基板」製造を開始</li> <li>■ ㈱関東応化に資本参加(現エヌシーアイ電子㈱)、「プリント配線板」分野に参入</li> <li>■ ニッカポリマ㈱を設立、「再帰反射シート」事業に進出(現在はニッカポリマは解散)</li> <li>■ 米国にNIPPAN CARBIDE INDUSTRIES(South Carolina)INC.を設立、「トナー用樹脂」事業を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インドネシアにPT ALVINY INDONESIAを設立、「ステッカー」及び「建材」事業を展開</li> <li>■ 中国に恩希愛(杭州)化工有限公司(現恩希愛(杭州)薄膜有限公司)を設立、「再帰反射シート」事業を展開</li> <li>■ ベトナムにNCI(VIETNAM)CO.LTD.を設立、「ステッカー」事業を展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 転換社債発行(50百万スイスフラン)</li> </ul>
2000年代～現在 選択と集中	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プリント配線板事業からの撤退</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インドにNIPPON CARBIDE INDIA PVT.LTD.を設立、「ステッカー」事業を展開</li> <li>■ ブラジルにNIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA.を設立し「ステッカー」事業を展開</li> <li>■ 研究拠点を早月工場(新研究開発センター)に集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1,300万株公募増資</li> <li>■ 創立80周年</li> </ul>

# 経営理念／NCIグループビジョン



## 経営理念

技術の深耕と融合で価値を創造し、社会の繁栄に貢献していくこと

## NCIグループビジョン

### 私たちの使命

- 日本カーバイド工業(グループ)の特徴ある技術の深耕と融合で、価値ある製品を開発・製造・販売し、消費者の生活向上に資するとともに、お客様各社の発展に役立つことを通じて、社会の繁栄に貢献していくことを使命とします。

### 私たちの経営目標

- 『存在感のあるキラリと光る良い会社(グループ)』の実現
- 私たちの使命を実行し、小さくとも技術力と経営効率の高いキラリと光る会社・グループ
  - 各ステークホルダーに対して責任を果たして、信頼を得、存在感のある会社・グループ

### 経営方針

- 常に技術・事業・会社を進化させる。
- 成長分野への重点的資源配分とグローバル化を推進する。
- 公正な、かつ環境・安全を重視した事業活動を実践する。
- 基本に忠実な業務活動を実践する。

### 私たちの行動指針

- Sense of Urgency(状況変化や問題の察知と対策への結びつけ)
- Change(変化させる、一歩前進)
- Quick Response and Action(迅速な行動)
- Teamwork(コミュニケーションとベクトル合わせ)

# 機能製品事業①



主要取扱製品	化学品(ファインケミカル製品)、成形材料(メラミン樹脂)	
製造・販売拠点	国内	当社、三和ケミカル
	海外	—
主な最終用途	医薬品、食器から半導体金型クリーニング材まで多用途のプラスチック製品	
特徴	化学品	カーバイドや石灰窒素といったコモディティ製品の製造から医農薬原料や電子材料用原料等のスペシャリティ製品の製造、更には医薬品原体の製造に事業を転換しています
	成形材料	軽くて丈夫、熱に強く着色しやすいといった優れた特性があり、食器から半導体金型クリーニング材まで多用途のプラスチック製品に使用されている成形材料であるメラミン樹脂を製造しています

当社の製品はこんなところに使われています

## 化学品

病院で使われる薬: 医薬品原体・中間体



原体、中間体として医薬品に幅広く用いられています。



果樹園: 植物成長調整剤



発芽を促進させて収穫を早めたり、収穫期間の短縮が期待できます。

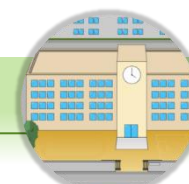


## 成形材料

学校・食堂で使われる食器: メラミン樹脂



メラミン樹脂の軽くて丈夫、耐熱、着色に優れた特性を活かし、食器などの用途で使われています。



半導体製造工場: 半導体封止材用金型クリーニング材



エポキシ樹脂成型材料を使用する際に生じる金型の汚れを除去するためのクリーニング材として使われています。



# 機能製品事業②



主要取扱製品	機能樹脂(接着製品)、ステッカー、マーキングフィルム、包装材料(食品用ラッピング)	
製造・販売拠点	国内	当社
	海外	アメリカ(サウスカロライナ)、タイ(サムットプラーカーン)、ベトナム、インドネシア、中国(杭州)、インド、ブラジル
主な最終用途	粘接着剤、二輪車・四輪車装飾シート状ステッカー、屋外看板、食品用ラッピング	
特徴	機能樹脂	高分子合成技術、樹脂重合技術が生み出すさまざまな機能樹脂である、さまざまな対象・環境に最適な粘接着剤を製造しています。一般ラベル用から医療、光学・電子材料向けなど幅広い用途に使用されています
	ステッカー	オートバイの製造時に車体表面に施される、耐候性を備えたシート状のグラフィック印刷製品を提供しています
	マーキングフィルム	屋外広告や車両に施されたデザインに多く使用されている貼る塗料といわれるマーキングフィルムを製造しています

当社の製品はこんなところに使われています

## 機能樹脂

テレビ:アクリル溶剤系樹脂溶液



光学向け粘・接着剤として偏光板(テレビ、モバイル、タブレットPC向けなど)に用いられています。

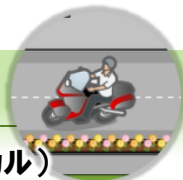


## ステッカー

バイク:二輪車・四輪車装飾ステッカー3D Decals(3Dデカル)



東南アジアを中心に、オートバイの製造時に車体表面に使われています。ブランドの顔となる立体エンブレム部分には3Dデカルが使われています。

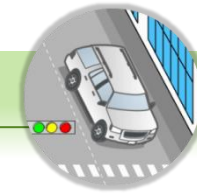


## マーキングフィルム

自動車:レーザーマーキングラベル



レーザーマーキングラベルは、異なる色の二層フィルムラベル材料です。レーザー光線を用い、QRコード等の可変情報ラベルを必要なだけ作成することが可能です。優れた耐久性とセキュリティー性を兼ね備えたラベルです。



街中の看板・サイン:マーキングフィルム、アクリル溶剤系樹脂溶液



豊富なカラーと優れた対候性を備えたマーキングフィルムは、屋外広告・看板などに使われています。また、粘・接着剤として機能樹脂も使われています。





# 電子・光学製品事業



主要取扱製品		再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板
製造・販売拠点	国内	当社、北陸セラミック、エヌシーアイ電子
	海外	中国(杭州)、アメリカ(カリフォルニア)、ドイツ、オランダ、フランス、スペイン、タイ(ランプーン)
主な最終用途		道路標識、ナンバープレート(CLP)、チップ抵抗器、LED照明、パソコン、アミューズメント機器
特徴	再帰反射シート	道路標識や車両後部反射器に使用されている再帰反射シートを製造しています。封入レンズ型、カプセルレンズ型高輝度タイプ等、豊富なグレードを取り揃えています
	セラミック基板	アルミナセラミック基板は微小チップサイズ対応基板や多連チップ基板を提供、厚膜印刷基板は高耐熱性、高放熱性に高い信頼を得ています
	プリント配線板	電子機器の小型化、高性能化に必要な配線の高密度化を実現する基板、部品や基板の温度上昇を抑制する基板等の特徴ある製品を取り扱っています

当社の製品はこんなところに使われています

## 再帰反射シート

ナンバープレート(海外)/安全・保安用品(三角コーン)/工事看板



海外では車両のナンバープレートに再帰反射シートを使うことで視認性を高めています。また、再帰反射シートは安全・保安用品や工事看板にも使われています。

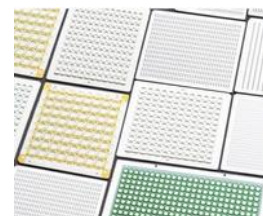
道路標識:再帰反射シート



再帰反射シートは光源方向からの視認性を高めるもので、道路標識に使われています。

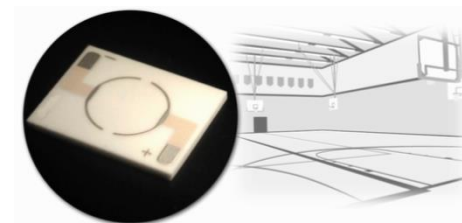
## セラミック基板

テレビ・パソコン・スマートフォン:セラミック基板



チップ抵抗器としてデジタル家電に広く使われています。

体育館の照明:LED用厚膜印刷基板



高輝度・高反射アルミナベース基板で、LED照明などに使われています。

# 建材関連事業／エンジニアリング事業



主要取扱製品	住宅・ビルアルミ建材、樹脂押出し製品	
製造・販売拠点	国内	ビニフレーム工業
	海外	インドネシア
主な最終用途	住宅・ビル用の手すりやカーポート、内装建材、電子機器包装	
特徴	高い技術に支えられた品質と洗練されたデザインの建材を提供し、各種環境配慮型製品の開発を通じて社会に貢献しています	

主要取扱製品	鉄鋼・化学・環境プラントの設計・施工	
製造・販売拠点	国内	ダイヤモンドエンジニアリング
	海外	中国(大連)
主な最終用途	製鉄プラント、化学・環境プラント	
特徴	長年培ってきた鉄鋼精錬と粉体ハンドリング技術を駆使して、より広く、産業界の多彩な分野へ事業を展開しています(特に連続粉体吹込技術は、石炭ガス化複合発電(IGCC)設備におけるガス化炉への微粉炭の吹込に応用されています)	

## 住宅・ビル建材



## プラント

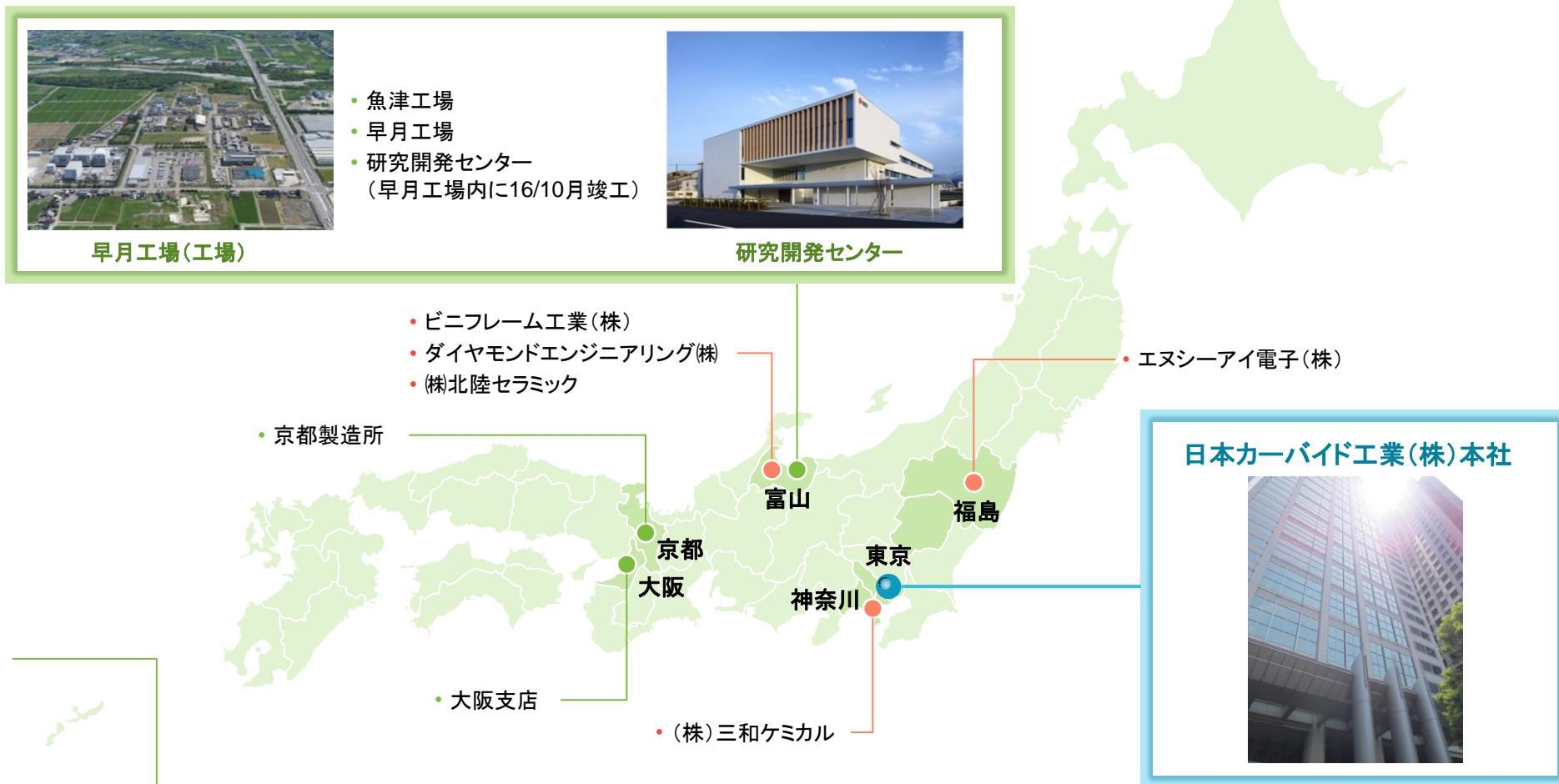


# 国内ネットワーク



## 主要国内11拠点(本社,支店1拠点,工場2拠点,製造所1拠点,研究所1拠点)、関係会社5社

● 本社 ● 事業所(支店、工場・研究所・製造所) ● 関係会社



# 海外ネットワーク



## 主要海外8拠点

### NIPPON CARBIDE INDIA PVT. LTD.



#### 事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売

### 恩希愛(杭州)薄膜有限公司



#### 事業内容

再帰反射シート、食品包装用ラップフィルム、マーキングフィルムの製造、販売、マーキングフィルムの販売及び各種ステッカーの印刷、製造、販売

### NCI(VIETNAM) CO.,LTD.



#### 事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売

### NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (South Carolina) INC.



#### 事業内容

トナー用樹脂の製造、販売

### THAI DECAL CO.,LTD.



#### 事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売

### ELECTRO-CERAMICS (THAILAND) CO.,LTD.



#### 事業内容

アルミナセラミック基板及び厚膜印刷基板の製造、販売

### PT ALVINY INDONESIA



#### 事業内容

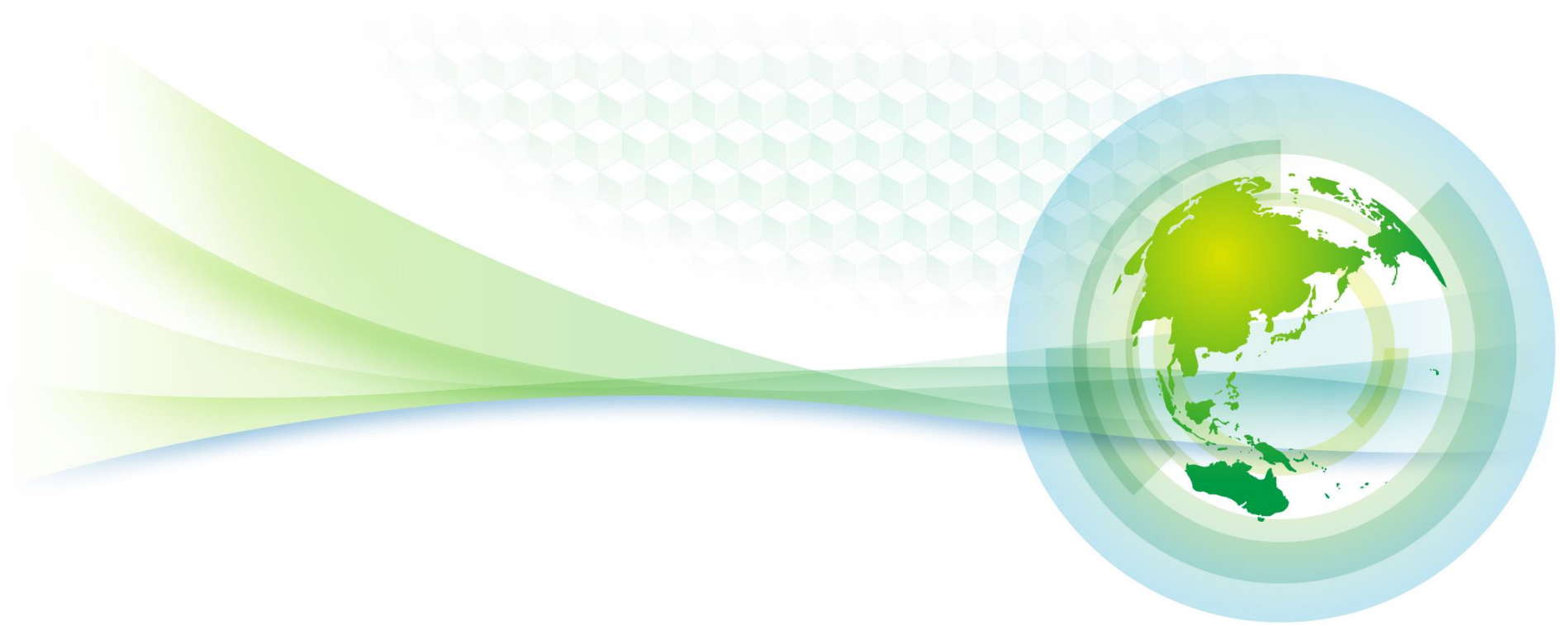
各種ステッカー、アルミ建材、樹脂製品の製造、販売

### NIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA



#### 事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売



## II.2017年3月期決算の概要

# 2017年3月期決算サマリー



## ① 連結損益計算書

- ・前期比減収も、原材料価格の低下等により収益は改善
- ・一方でプリント配線板事業撤退に係る特別損失を計上

(単位:百万円)

	16/3月期		17/3月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	50,182	-	49,509	-	-673	-1.3%
売上原価	37,076	74.1	35,996	71.7	-1,080	-2.9%
販売費及び一般管理費	11,004	21.5	10,935	21.8	-69	-0.6%
営業利益	2,101	4.4	2,577	5.1	476	22.7%
経常利益	2,255	4.8	2,568	5.1	313	13.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,004	2.4	631	1.3	-373	-37.2%
1株当たり当期純利益	12.27円	-	7.71円	-	-4.56円	-

# セグメント概要

- 機能製品、建材関連、エンジニアリングは安定的に利益を生み出す
- 電子・光学製品は選択と集中により収益改善を目指している

(単位:百万円)

セグメント	売上高(17年3月期)	セグメント利益(17年3月期)	主要事業 (セグメント売上高に占める割合)
機能製品	23,036 (43.9%)	2,967	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能樹脂(約40%)</li> <li>ステッカー(約20%)</li> <li>化学品(約20%)</li> </ul>
電子・光学製品	11,160 (21.3%)	△318	<ul style="list-style-type: none"> <li>再帰反射シート(約60%)</li> <li>セラミック(約30%)</li> </ul>
建材関連	10,886 (20.7%)	679	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用アルミ建材(100%)</li> </ul>
エンジニアリング	7,423 (14.1%)	268	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業プラントの設計・施工(100%)</li> </ul>

# セグメント別の状況



## ① 機能製品

(単位:百万円)

	16/3月期	17/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	23,381	23,036	-345	-1.5%
セグメント利益	2,500	2,967	467	18.7%

- 化学品は農薬関連や電子材料向けが順調で増収増益
- 機能樹脂は光学関連分野で復調するもトナー用樹脂が低調で減収  
高付加価値品の拡販や原材料(ナフサ)価格低下により増益
- ステッカーは総じて東南アジアの市況低迷により減収



# セグメント別の状況



## ② 電子・光学製品

(単位:百万円)

	16/3月期	17/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	12,355	11,160	-1,195	-9.7%
セグメント利益	-622	-318	304	—

- 反射は欧州向けが低調、期前半の円高影響もあり、前期比減収減益
- セラミック基板は車載関連向けの需要は回復するもスマートフォン向けが低迷で減収  
一方でコストダウンが寄与し利益面では大きく改善
- プリント配線板は「選択と集中」による事業撤退により大幅減収

# セグメント別の状況



## ③ 建材関連

(単位:百万円)

	16/3月期	17/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	10,475	10,886	411	3.9%
セグメント利益	366	679	313	85.5%

- 住宅用アルミ建材は住宅着工戸数の増加などにより主力の手摺・笠木等が販売好調に推移し前期比増収
- 原材料(アルミ地金)価格の低下もあり過去最高益

# セグメント別の状況



## ④ エンジニアリング

(単位:百万円)

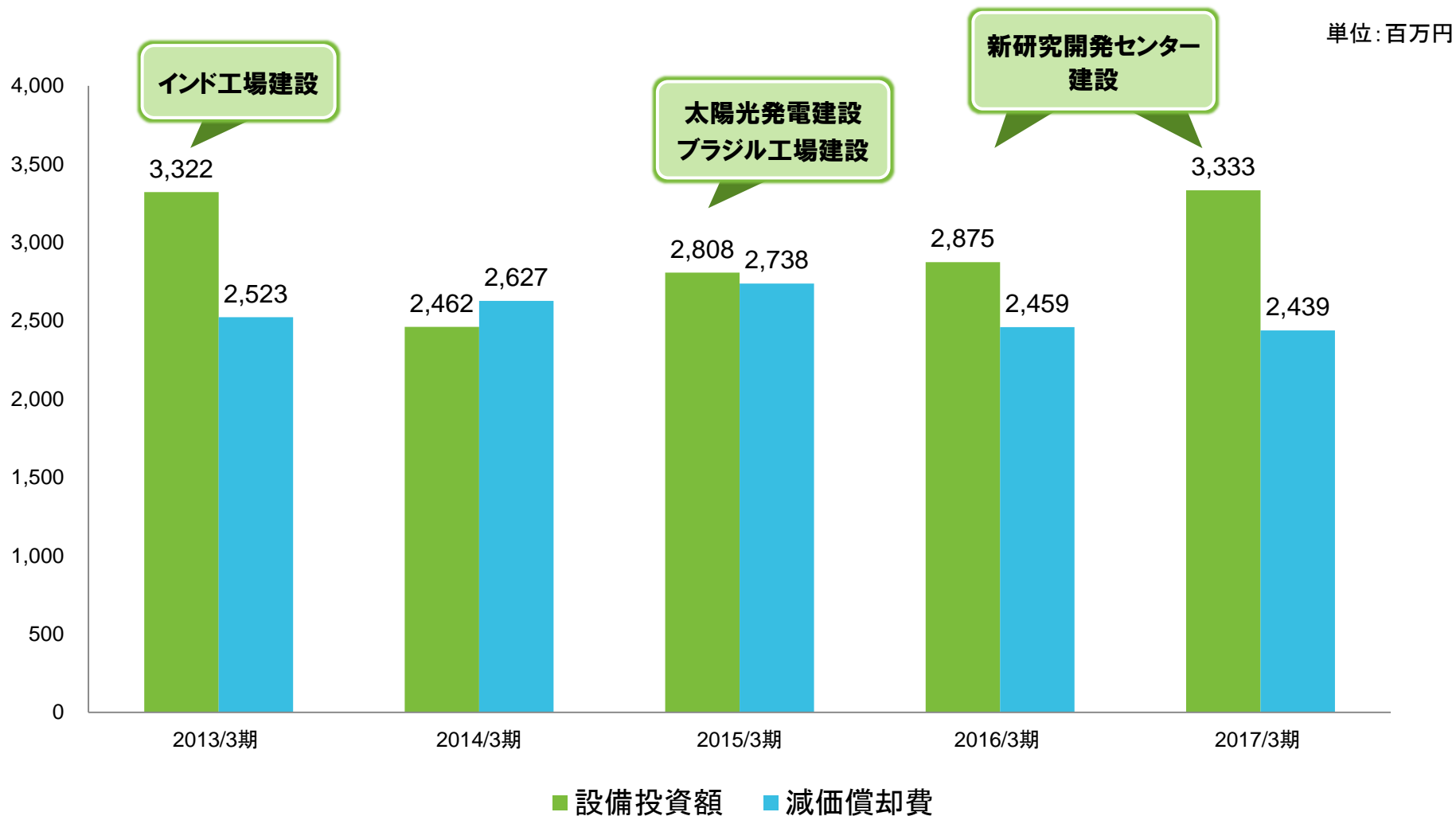
	16/3月期	17/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	6,838	7,423	585	8.6%
セグメント利益	166	268	102	61.4%

- 産業プラント設計・施工は国内外向け大型案件の完工増加により増収増益

# 設備投資の状況



## 2017年3月期の設備投資の主なものは新研究開発センターの建設



# 連結貸借対照表



- 17/3月期末の自己資本比率は31.9%(16/3月期末32.8%)

(単位:百万円)

	16/3月期		17/3月期		前期比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	29,275	49.3	30,090	49.4	815
固定資産	30,114	50.7	30,852	50.6	738
有形固定資産	27,000	45.5	27,552	45.2	552
無形固定資産	572	1.0	645	1.1	73
投資その他の資産	2,542	4.3	2,654	4.4	112
<b>資産合計</b>	<b>59,389</b>	<b>100.0</b>	<b>60,942</b>	<b>100.0</b>	<b>1,553</b>
流動負債	24,374	41.0	25,930	42.5	1,556
固定負債	14,566	24.5	14,506	23.8	-60
<b>負債合計</b>	<b>38,940</b>	<b>65.6</b>	<b>40,436</b>	<b>66.4</b>	<b>1,496</b>
株主資本	12,129	20.4	12,596	20.7	467
その他の包括利益累計額	7,321	12.3	6,820	11.2	-501
非支配株主持分	998	1.7	1,089	1.8	91
<b>純資産合計</b>	<b>20,449</b>	<b>34.4</b>	<b>20,506</b>	<b>33.6</b>	<b>57</b>

# 連結キャッシュ・フロー計算書



- 17/3月期末のフリーキャッシュ・フローは2億円(前期比マイナス14億円)

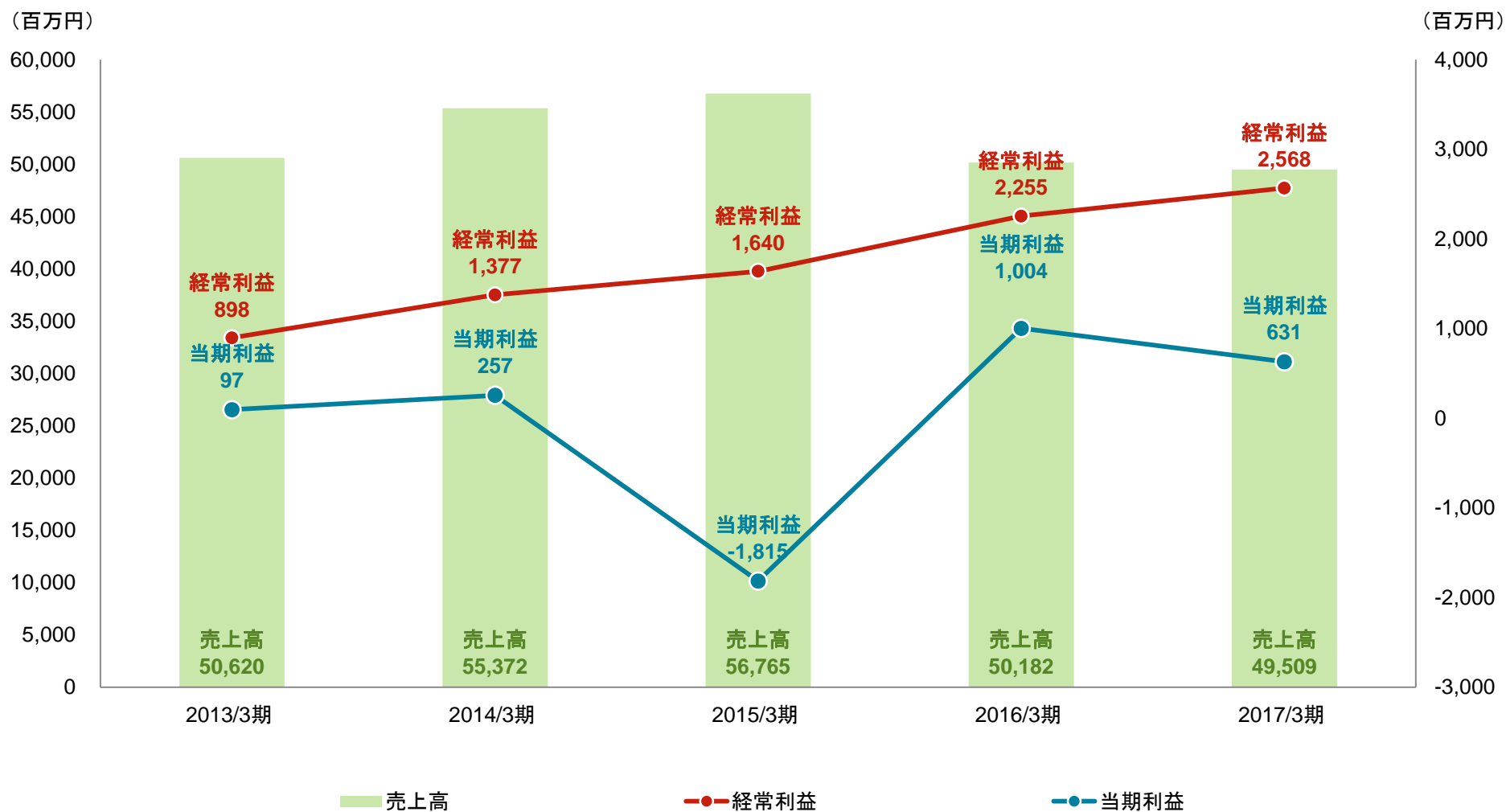
(単位:百万円)

	16/3月期	17/3月期	前期比増減
現金及び現金同等物の期首残高	2,797	3,727	930
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,732	3,421	-1,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,024	-3,210	-186
フリーキャッシュ・フロー	1,708	211	-1,497
財務活動によるキャッシュ・フロー	-811	-374	437
現金及び現金同等物に係る換算差額	-215	-128	87
現金及び現金同等物の期末残高	3,727	3,435	-292

# 業績の推移

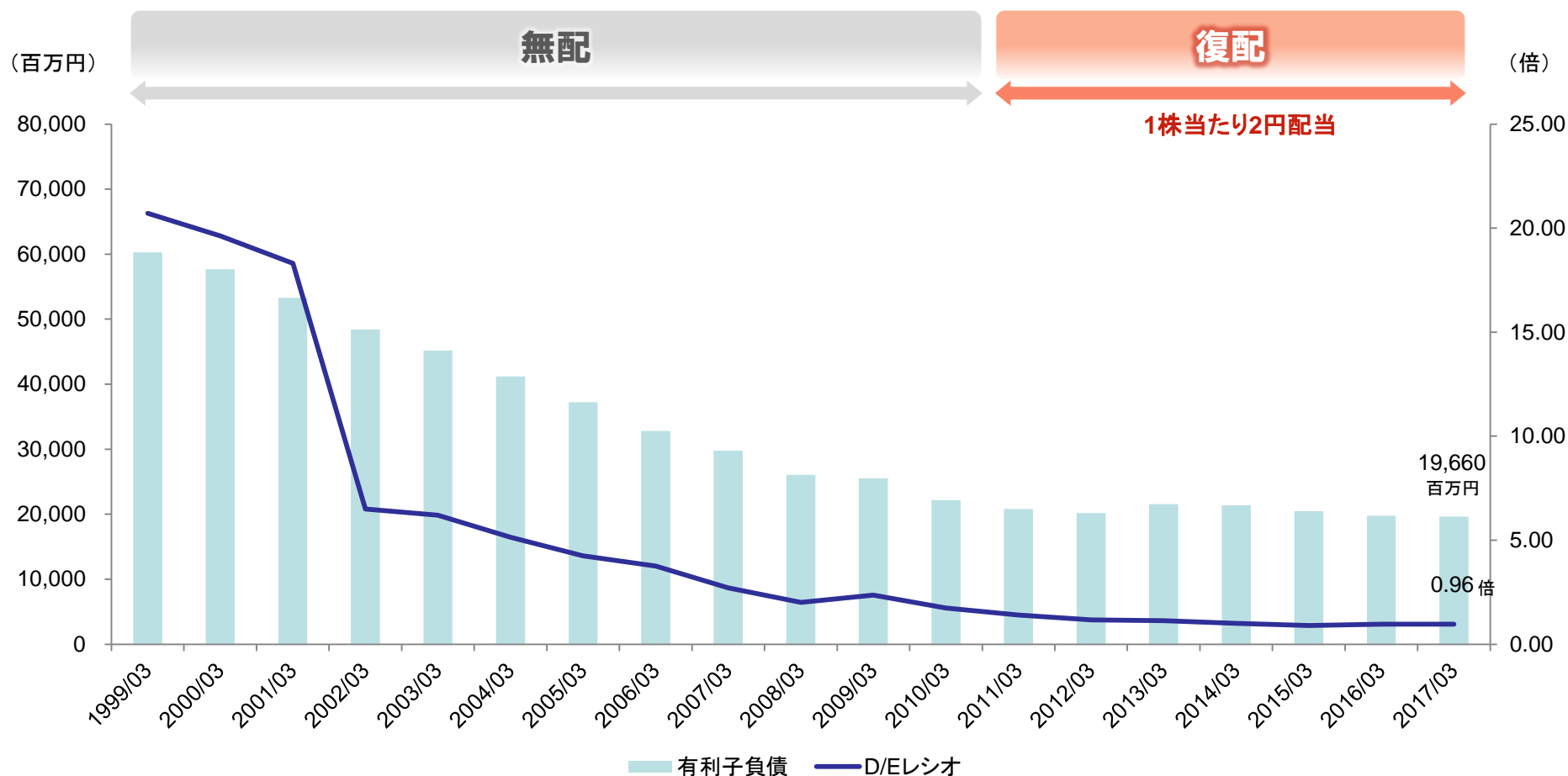


## ① 連結業績の推移(直近5期)

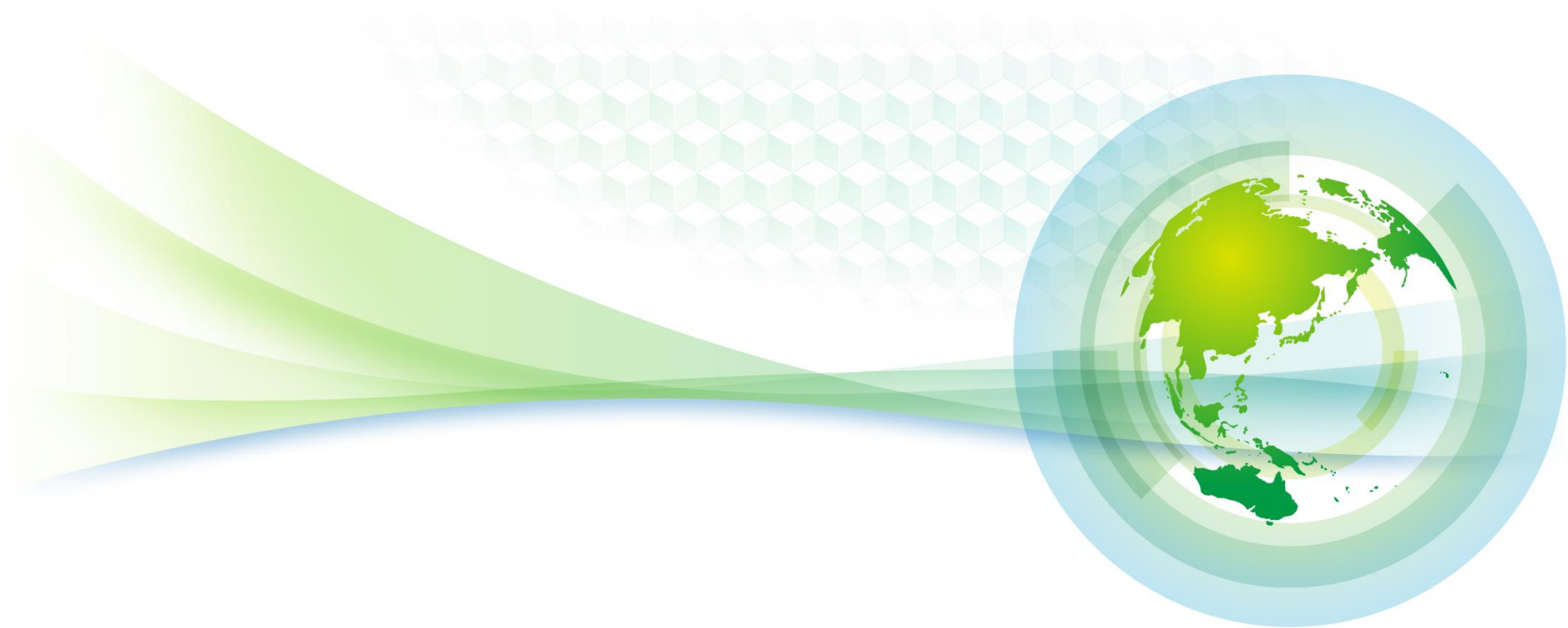


# 業績の推移

## ② 有利子負債及び配当の推移







### **III.2018年3月期業績予想**

# 連結業績予想

単位：百万円

	17/3月期		18/3月期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	49,509	-	<b>50,000</b>	-	491	1.0%
営業利益	2,577	5.2	<b>2,400</b>	<b>4.8</b>	-177	-6.9%
経常利益	2,568	5.2	<b>2,300</b>	<b>4.6</b>	-268	-10.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	631	1.3	<b>1,200</b>	<b>2.4</b>	569	90.2%
1株当たり 当期純利益	7.71円	-	<b>146.56円</b> (注)	-	-	-
1株当たり配当金	2円00銭	-	<b>20円00銭</b> (注)	-	-	-

(注)2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、2018年3月期(予想)の1株当たり当期純利益および1株当たり配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

# 業績予想ポイント

- 売上高は500億円台を回復
- 若干の減益も2015年度並みの23億円は確保

(単位: 百万円)

セグメント	売上高(18年3月期)	セグメント利益(18年3月期)	コメント
機能製品	24,000 (46.7%)	2,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能樹脂は増収計画、原材料価格上昇を見込むが利益は前期並みを計画</li> <li>ステッカーは増収増益、東南アジア等の拡販やインド、ブラジルの本格立ち上げ</li> <li>化学品は減収減益、原材料価格上昇が収益を圧迫</li> </ul>
電子・光学製品	11,000 (21.4%)	△200	<ul style="list-style-type: none"> <li>反射は増収計画も原料高と為替影響で大きく減益を見込む</li> <li>セラミック基板は増収増益、拡販とコストダウンにより黒字化</li> </ul>
建材関連	11,000 (21.4%)	600	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高は横ばい、利益は原料高等で若干の減益見込み</li> </ul>
エンジニアリング	5,400 (10.5%)	△100	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期大型案件完工により端境期となり減収減益</li> </ul>



## ACTIVE-2018

### 基本方針

増収増益を継続して達成できる企業グループを実現する

### 重点施策

- ① 事業所の徹底した安全の確保と製品品質の揺るぎない向上を図る
- ② 事業の選択と集中を加速し、増収増益を継続できる体質に転換する
- ③ 研究開発の効率を引き上げ、速やかな上市に着実に結びつける
- ④ 海外事業会社の体質を強化し、収益力の確保・拡大を確実に進める
- ⑤ 国内関係会社は其々の強みを伸ばし、確固たる事業基盤を築く

### 経営指標

売上高

600億円以上 ⇒ 540億円以上

経常利益

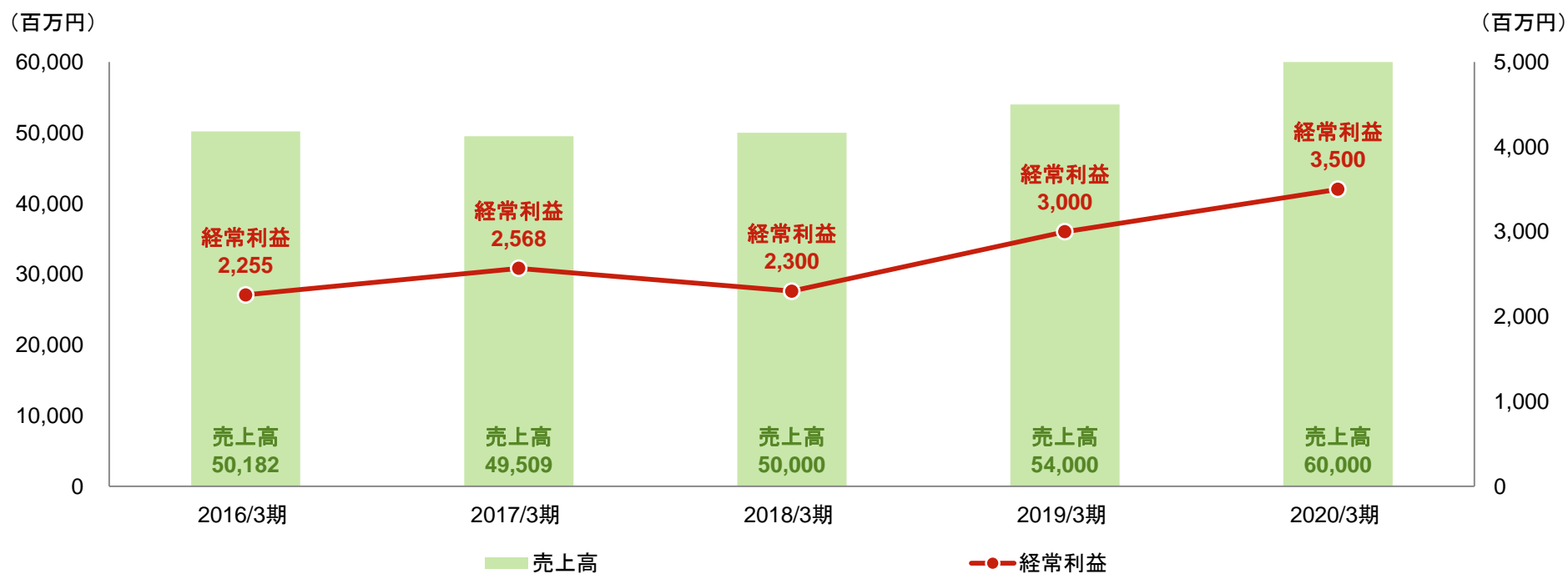
35億円以上 ⇒ 30億円以上

※当初目標の売上高600億円以上、経常利益35億円以上は1年先送り

# 経営指標の見直し

(単位:百万円)

	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期
売上高	50,182	49,509	50,000	54,000	60,000
経常利益	2,255	2,568	2,300	3,000	3,500



# 中期経営プラン



## 2017年度の取り組み

コンプライアンスと安全の維持推進は事業活動の大前提

### 具体的な取り組み内容

#### 【事業の選択と集中】

- ・セラミック事業のコストダウン、得意分野への集中および製造プロセスの他用途展開

#### 【研究開発効率化による速やかな上市】

- ・事業開拓・開発組織の立上げ
  - 業際マーケティングへの注力と製品開発の加速
- ・研究拠点集約後の開発業務効率化と高度化の推進
  - 専門分野間相互協力、複合技術開発の強化

#### 【海外事業会社体質強化】

- ・ステッカー生産子会社の安定戦力化

#### 【国内関係会社強みの伸長／確固たる事業基盤確立】

- ・不適切会計処理再発防止策の展開、企業体質の改善

本日はありがとうございました



## 化学で「光る」会社を目指して

IRに関するお問い合わせ先

**日本カーバイド工業株式会社 総務部**

電話: 03-5462-8200

e-mail: [ouji@carbide.co.jp](mailto:ouji@carbide.co.jp)

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。